

12月1日（木）・23日（金）第5回教養アップ講座×STEAM 特講を開催しました。

「みんなでつくるデジタルツイン 南高をスキャンして仮想空間へ」

有限会社ナカノジョイントカンパニー

日本 Android の会 運営委員／四国支部長 兼久 信治郎 氏

今回の講座は、写真データから仮想空間を作るという「デジタルツイン」について、2回に分けての講座となりました。第1回は、仮想空間、メタバース、デジタルツインとは何かとのお話と教室、被服室、食物室の写真データの収集、第2回は、それらのデータをフォトグラメトリーという写真データから3DCGを生成する技術を利用して処理し、メタバース（3次元仮想空間）として出来上がった各教室を見せていただきました。NTTが提供する「DOOR」という無料のプラットフォーム上に教室のメタバースを作り、各自が端末からアバターとして入室しました。また、後半は、美術室のいろいろなオブジェを各班が撮影し、それをフォトグラメトリーのソフトを利用して3次元画像にさせていただき出来栄を競い合いました。参加者一同、画像データ処理技術の進歩に驚かされ、さらに、フリーソフトでも誰でも簡単に3D画像を作成できるということに驚かされました。講師の兼久先生や愛媛大学、地元企業が協力してメタバースを広めていこうという活動が始まったそうで、ワークショップやコンテストの紹介もしていただきました。来年度の課題研究で取り組んでみたいという生徒もおり、大変興味深い、楽しい講座となりました。

